



東白川小だより

令和4年12月15日(木) №10

校長 桂川 辰也

思うことは自由だけど・・・



12月2日の「**ひびきあい集会**」(⇒詳しくは[学校HP](#)をご覧ください)で子ども達に二つの話をしました。一つ目は、子ども時代を振り返り私が今後悔していることです。二つ目が見出しに関わることです。今回は、二つ目の話に関わる昔の出来事を紹介します。(集会での話そのものではありません。)

「先生には嫌いな人がいると思いますか？」

「僕は信じています。先生だから嫌いな人なんかいるはずないと思います。」

「そうか、期待を裏切って悪いけど先生には嫌いな人いますよ。」

「え～、そんな～」

「世の中には、他人の命や財産を奪ったり、身体や心を傷つけたりする人がいます。先生はそういう人が大嫌いです。もしも先生の大切な人を傷つける人がいれば、その人のことは絶対に許す気持ちにはなれません。」

「確かに・・・」

「但し、いくら許せなくてもその人を無視したり、叩いたり、悪口を言ったりして傷つけることはしません。**絶対に許されない行為**だからです。自分を嫌いになりたくないからです。」

「フーン・・・」

「ところで、イジメはいじめられる側にも問題があると思ったことはありますか？」

「正直あります。学級委員をしていた時、クラスの取り組みや仲間の呼びかけを無視して自分勝手なことを繰り返すAさんにムカついて無視したことがあります。他にも僕と同じ様に無視をした人が何人かいました。そしたら、AさんとAさんの親が僕たちにいじめられていると言い出して問題になったことがありました。その時に親や先生から『イジメは本人がいじめられたと感じたらイジメだよ。』と言われてすごく悔しい思いをしました。また、『Aさんには〇〇のような良いところもあるよ、そんなに嫌わないで。』と言われて、Aさんをどうしても好きになれない僕がダメだと言われているみたいで悲しくなりました。」

「なるほど、今も同じ？」

「いえ、今は違います。先生にも嫌いな人がいると聞いて、あの時Aさんにムカついた自分は悪くないと思えて安心しました。そして無視してしまったことについて今は後悔しています。心から謝りたいです。」

「その言葉を聞いてホッとしました。**誰かを嫌いと思うことは自由だけど、それを言葉や態度に出して他人を傷つけることは絶対に許されません。**わかってくれてありがとう。」



二学期も残すところ10日となりました。この二学期はたくさんの催しがありましたが、保護者や地域の皆様のご理解ご協力のお陰で無事に終えることができました。ありがとうございます。三学期も引き続きよろしくお願いいたします。少し早いですが、よいお年をお迎えください。